

東区地域福祉計画・地域福祉活動計画(2021～2026) 令和4年度分実績一覧

**【基本理念】**

「地域の人々とのふれあいや支えあいのなかで、  
みんなの顔が見え、元気で安心して暮らせるまち」

## 基本目標1 支えあい、助けあい、つながりあうまちづくり

◎地域で暮らす誰もが安心して暮らすために、人と人、人と社会がつながり、支えあい、助けあうまちづくりを進めます。

活動目標	具体的な取り組み・事業	概要	担当	評価指標	目指す方向	令和2年度(2020)	令和3年度(2021)	令和4年度(2022)	コメント・課題等	委員意見・コメント等
<b>(1) 地域で気軽に助けあえる関係をつくりましょう</b>										
	見守り訪問による高齢者の実態把握	第三者の目が届いていないと思われる高齢者を対象に、見守り訪問を実施して生活の様子を確認するとともに、状況に応じてふさわしいサービスへの誘導を図る。	健康福祉課	訪問件数	継続	7,309件	6,100件	7,507件	対象者の抽出方法変更により、訪問件数が増加した。	
	地域活動補助金【地域福祉・地域計画策定】	地域コミュニティ協議会、自治会・町内会、NPOが行う地域課題の解決を図る活動などに対して補助金を交付する。	地域課	件数	継続	8件	7件	6件	世代間交流等の活動が継続的に行われている。	
	歩道除雪奨励金交付制度	市管理道路の歩道除雪において、市民団体が自主的に実施する歩道除雪に対し奨励金を交付する。	建設課	回数	継続	124回	54回	133回	制度の活用が進められる一方で、高齢化による担い手不足の声があがっている。	
	小地域福祉活動（支会活動）の推進	東区社会福祉協議会支会による小地域での福祉活動の充実を図るため、支会活動助成を行う。	区社協	実施団体数	継続	11地区	12地区	12地区		
	地区単位での地域福祉懇談会の開催	各地区ごとに懇談会を開催し、地域福祉活動計画の地区目標の推進を図る。	区社協	実施回数	継続・充実	12地区	6地区	12地区		
	まごころヘルプ事業	住み慣れた地域で安心して暮し続けるために、住民、団体が会員となり、有償で助け合う地域住民参加型の在宅福祉サービス（助け合い活動）を実施する。	区社協	登録者数	休止	利用会員 149人 提供会員 61人 賛助会員 6人	利用会員 127人 提供会員 54人 賛助会員 5人	事業廃止		
	地域福祉推進フォーラムの開催	「東区地域福祉計画・地域福祉活動計画（愛称：東区地域ふれあいプラン）」の推進のため、東区地域福祉推進フォーラムを開催する。	区社協	参加者数	継続	開催なし	開催なし	1回 参加者数 133人	テーマ：遺品整理の現場から考える地域の見守りについて	
	CSWによる生活課題への相談支援	個別課題から地域課題へつなげ、地域住民とともに、生活課題の解決を図る。	区社協		継続	ごみ屋敷状態の独居男性世帯に対する相談支援等	専門職の介入を拒み課題から抜け出せずにいる世帯の相談支援等	精神の不調のためごみ屋敷状態になっている世帯への相談支援など		

活動目標	具体的な取り組み・事業	概要	担当	評価指標	目指す方向	令和2年度(2020)	令和3年度(2021)	令和4年度(2022)	コメント・課題等	委員意見・コメント等
<b>(2)地域活動・ボランティア活動に気軽に参加できる仕組みをつくりましょう</b>										
	ボランティア・市民活動センターの運営	ボランティアに関する相談を受け付け、活動先の紹介やボランティアの紹介等を行う。	区社協	相談件数	継続	89件	77件	131件		
	元気カアップサポーター事業	65歳以上の高齢者が介護施設などでのサポート活動を通じて、いきいきとした地域社会づくりに貢献するとともに、活動する人自身の介護予防の推進を図る。	区社協	受入協力機関数・登録者数	増	75施設 530人	81施設 538人	82施設 553人	新型コロナウイルスの影響で活動受け入れを休止している施設が多い。	
	認知症サポーター養成講座	企業や住民、行政からの依頼により、認知症の方への支援と理解を深めるための講座を開催する。	区社協	実施回数・参加人数	継続	開講なし	開講なし	開講なし		
	ボランティア・市民活動育成事業(ボランティア養成講座)	ボランティア意識の醸成を図りながら、ボランティア・市民活動への参加を促し、活動の活性化につなげていくため、地域住民、企業等を対象に各種研修会や講座を開催する。	区社協	講座数・参加者数	増	・ボランティア出前講座 16回 参加者 224人 ・ボランティアサロン 15回 参加者 162人	・ボランティア出前講座 15回 参加者 314人 ・ボランティアサロン 18回 参加者 288人 ・ボランティアきっかけづくり講座 1回 参加者 28人	・ボランティアチャレンジ講座 4回 96人 ・ボランティアサロン 22回 参加者 675人 ・出前講座、きっかけづくり講座 4回 参加者 70人	地域活動の担い手不足解消を目的にボランティアチャレンジ講座(4回連続講座)を開催した。	
	学生向けボランティア講座	夏休み期間を利用し、学生がボランティア活動に関心をもつ機会をつくり、今後のボランティア活動につなげる。	区社協	参加者数	継続	未実施	未実施	代替事業(ボランティア体験) 3回 59人	地域交流イベントや区社協事業でボランティア体験をした。	
	ボランティアフェスティバル	ボランティアグループ、団体の活動内容を紹介する機会と情報交換の場をつくとともに、ボランティア活動を知り、ボランティア活動のきっかけをつくることを目的に開催する。	区社協	参加団体	縮小・変更	未実施	未実施	未実施		
	ボランティアの活動支援	ボランティア活動を行っている方々の情報交換の場を設け、活動における悩みの解消やさらなるボランティア活動の推進を図る。	区社協	実施回数・参加人数	継続	ボランティア登録 47団体 854人 個人 24人 ボランティア保険加入数 活動保険 807人 行事用保険 793件	ボランティア登録 48団体 1,204人 個人 24人 ボランティア保険加入数 活動保険 860人 行事用保険 985件	ボランティア登録 46団体 1,474人 個人 39人 ボランティア保険加入数 活動保険 871人 行事用保険 1,072件		

活動目標	具体的な取り組み・事業	概要	担当	評価指標	目指す方向	令和2年度(2020)	令和3年度(2021)	令和4年度(2022)	コメント・課題等	委員意見・コメント等
<b>(3)地域で子育て支援ができる仕組みをつくりましょう</b>										
	わいわいひろば 子育て支援事業	東区プラザ内「わいわいひろば」で、親子・地域・世代間交流イベントを実施する。	健康福祉課	回数・参加者数	継続	142回 2,976人	163回 3,085人	179回 2,721人	感染症拡大予防に配慮し、オンライン開催や少人数で開催数を増やすなどの対応を取った。	
	NPプログラム	0歳から5歳までの子どもをもつ親を対象に、それぞれに抱えている悩みや関心のあることをグループで出し合って話し合いながら、自分にあった子育ての仕方を学ぶ。	健康福祉課	回数・参加者数	継続	2回 20人	4回 32人	3回 19人	コロナ禍で交流の場がなくなる中で、親同志が子どもから離れ自分を主体として話し合える貴重な機会として実施した。	
	BPプログラム	初めて赤ちゃんを育てている母親を対象に、「子育て仲間づくり」、「0歳児の育児に必要な少し先を見越した基礎知識の学習」、「親子の絆づくり」を支援する。	健康福祉課	回数・参加者数	継続	8回 73組	8回 66組	8回 58組	コロナ禍で子育て世代の方の交流機会が減少したため、情報収集の場として期待が高かった。	
	親子ふれあい広場 子育て事業	未就園児などを対象に、親子あそび指導者による親子遊びを行い、親子のふれあう機会・場をつくる。	健康福祉課	回数・参加者数	継続	7～12カ月：11回 439人 1～3歳：4回 200人	7～12カ月：7回 238人 1～3歳：8回 321人	7～12カ月：11回 363人 1～3歳：12回 536人	親子のふれあい方を実体験により習得する良い機会を提供できている。	
	CAPプログラム	子どもが暴力から自らを守るための知識や技能を身につける人権教育を実施する。	健康福祉課	回数・参加者数	継続	1回 8人	5回 37人	6回 39人	こども創作活動館、い〜てらすを会場として開催、施設を利用する子どもと保護者、施設職員を対象として実施した。	
	児童虐待防止研修会	子ども支援関係機関などを対象に、虐待防止を強化するための研修会を開催する。	健康福祉課	回数・参加者数	継続	3回 107人	2回 52人	2回 45人	虐待防止に向け、心配な状況を把握した際の迅速な情報共有について研修した。	
	こんにちは赤ちゃん訪問事業	生後4か月になるまでの全ての乳児と産婦を対象に訪問を実施し、保健指導や育児情報の提供を行い、地域における育児支援につなげる。	健康福祉課	訪問件数	継続	実人数：2,125人 延べ件数：2,442件	実人数：1,936人 延べ件数：2,679件	実人数：1,937人 延べ件数：22,999件		
	育児相談	育児全般又は育児に関する悩みや不安について個別相談を行うことにより、子育てを支援する。	健康福祉課	相談件数	継続	実人数 157人 延べ件数 310件	実人数 233人 延べ件数 446件	実人数 245人 延べ件数 472件	令和2年度から予約制で実施した。	
	こども創作活動館	文化活動や遊びを通して、創造力豊かで健全な子どもの育成を図る。	健康福祉課	利用者数	継続	27,072人	26,117人	30,403人	全体として小学生の利用が増えてきている。	
	わいわいひろば	小さな子どもを対象とした、子育て支援を目的とした居場所として、親子遊びなどの催しのほか、子育て相談、短時間保育も行う。	健康福祉課	利用者数	継続	30,076人	27,096人	32,066人	感染拡大により休館することはなかったが、感染症予防のため予約制にしたり、混雑時には、入場制限を行っている。	
	い〜てらす	「遊ぶ」・「つながる」・「楽しむ」をコンセプトに、のびのびと遊べる場・交流と育児支援の提供の場・多世代が居心地よく楽しめる場を提供する。	健康福祉課	利用者数	継続	100,118人	90,636人	120,414人	休館することはなかったが、感染症予防のためリモート配信のセミナー開催や、来場者が千人を超える日もあり、混雑時には入場制限を継続して行っている。	
	子育てサロン・サークル活動支援	子育て中の親子の不安・ストレス解消を図り、情報交換、仲間づくりの場の運営を支援するため助成を行う。	区社協	助成団体数	継続・廃止	子育てサロン 6か所	子育てサロン 8か所	子育てサロン 8か所		
	子育てボランティアの育成	子育て支援に携わるボランティアの養成を行う。	区社協	回数・参加者数	継続	開催なし	開催なし	・ボランティアチャレンジ講座 4回 96人	子ども食堂運営団体の協力により、連続講座4回のうち1回で子育てボランティアの育成を行った。	
	他団体と連携した子育て支援講座	子育て支援に携わるボランティアの養成・活動支援を行う。	区社協	参加者数	継続	開催なし	開催なし	・ボランティアチャレンジ講座 4回 96人	同上	
	子ども食堂ネットワーク事業	食を通して、子どもたちの生きる力を育むことを目的に、温かい食事と安心できる居場所を提供する「子ども食堂」の立ち上げ・運営支援を行う。	区社協	回数・参加団体	継続	子ども食堂連絡会議の開催 1回 参加者 11名	子ども食堂連絡会議の開催 1回 参加者 11名	子ども食堂連絡会議の開催 2回 47人	子ども食堂運営団体への支援の一環として、企業等協力団体とのネットワーク構築を行った。	

## 基本目標2 健康で住みやすいまちづくり

◎いつまでも元気にいきいきと暮らしていくことができるよう、健康づくり・生きがいづくりに取り組むとともに、誰にもやさしい生活環境づくりを推進します。

活動目標	具体的な取り組み・事業	概要	担当	評価指標	目指す方向	令和2年度(2020)	令和3年度(2021)	令和4年度(2022)	コメント・課題等	委員意見・コメント等
<b>(1)心身ともに健康で生きがいを持った生活を送りましょう</b>										
各種がん検診		疾病の早期発見・治療のため、各種がん検診を実施する。	健康福祉課	受診率	継続	胃：27.7%、乳18.0% 大腸：24.2%、子宮22.4% 肺：8.3%	(集計中)	(集計中)	※令和元年度から保健所作成の各種がん検診年報に統一した。(毎年10月頃作成)	
特定健康診査		メタボリックシンドロームの該当者や予備群をいち早く見つけられる健診を行う。	健康福祉課	受診率	継続	25.74% (3月5日報告分)	27.45% (3月5日報告分)	27.19% (3月5日報告分)		
健康相談		保健師、栄養士等により、健康に関する個別相談に応じ、必要な相談・助言を行う。	健康福祉課	回数・延人数	継続	21回(3会場72人)	23回(3会場75人)	24回(3会場73人)		
特定保健指導		特定健康診査でメタボリックシンドロームの該当者やその予備群と判定された人などに、生活習慣を改善するための指導を行う。	健康福祉課	回数・延人数	継続	25回(3会場)87人	24回(2会場)86人	24回(2会場)61人		
依頼健康教育		健康づくりや生活習慣病の予防、また歯の健康を守るための日常生活上の心得や食生活のあり方等について、保健師、栄養士などによる講習会を開催する。	健康福祉課	回数・延人数	継続	20回 196人	29回 401人	35回 479人	コロナ禍で依頼が来ていなかった団体から、再度声がかかるようになった。	
栄養・運動・休養をテーマにした講習会・講演会の開催		健康寿命の延伸を目的に、正しい健康知識を普及啓発するための講演会やコミュニティ協議会などの地域単位でのウォーキング等の運動体験講座を開催する。	健康福祉課	回数・参加者数	継続	【講習会・講演会】 5回 155人 【ウォーキング・介護予防自主グループ支援】 16回 167人	【講習会・講演会】 4回 104人 【ウォーキング・介護予防自主グループ支援】 12回 141人	【講習会・講演会】 6回 90人 【ウォーキング・介護予防自主グループ支援】 15回 179人		
介護予防教室や認知症予防教室の開催		介護などが必要となるおそれのある人に対し、運動器・口腔機能向上、栄養改善の複合型教室や脳活性化のための健康教室を開催する。	健康福祉課	回数・延べ参加者数	継続	【複合型教室】 233回 1,332人 【介護予防教室等】 34回 441人	【複合型教室】 205回 998人 【介護予防教室等】 22回 311人	【複合型教室】 143回 1,102人 【介護予防教室等】 20回 314人		
食生活改善推進委員の育成		「食生活改善推進委員養成講座(健康栄養セミナー)」の修了生が、生涯における健康づくり活動を、食を通して推進する。	健康福祉課	推進委員数	継続	43人	37人	35人		
運動普及推進委員の育成		「運動ボランティア養成講座」の修了生が、健康づくりのための運動を広めるために活動する。	健康福祉課	推進委員数	継続	25人	24人	23人		
老人クラブ		高齢者が自主的に集まり、相互の親睦、教養の向上、健康の増進、地域社会との交流を図る。	健康福祉課	クラブ数・会員数	継続	42クラブ 1,829人	36クラブ 1,424人	34クラブ 1,299人		
「地域の茶の間」の立ち上げ・運営支援		地域に住む子どもから大人まで誰もが気軽に集まって過ごすことができる居場所「地域の茶の間」の普及を図るため助成を行う。	区社協	助成件数	継続	月1タイプ：55か所(件) 月2タイプ：9か所(件) 社協助成のみ：3か所(件)	月1タイプ：48か所(件) 月2タイプ：10か所(件) 社協助成のみ：6か所(件)	月1タイプ：53件 月2タイプ：8件 社協助成のみ：13件		
		地域に住む子どもから大人まで誰もが気軽に集まって過ごすことができる居場所「地域の茶の間」の普及を図るため助成を行う。	健康福祉課	助成件数	継続	週1タイプ：11件	週1タイプ：13件	週1タイプ：14件	コロナ禍でも休止する団体はなく、立ち上げ数も増加している。	
		「地域の茶の間」の立ち上げ、運営を支援するため、情報提供や交流会、研修会等を行う。	区社協	参加者数	継続	地域の茶の間担当者交流会 1回 74名	開催なし	地域の居場所勉強会 3回 117人	地域の茶の間・子ども食堂・子育てサロンの運営者を対象とした勉強会を開催	
元気力アップサポーター事業<再掲>		65歳以上の高齢者が介護施設などでのサポート活動を通じて、いきいきとした地域社会づくりに貢献するとともに、活動する人自身の介護予防の推進を図る。	区社協	受入協力機関数・登録者数	増	開催なし	開催なし	82施設 553人	新型コロナウイルスの影響で活動受け入れを休止している施設が多い。	

活動目標	具体的な取り組み・事業	概要	担当	評価指標	目指す方向	令和2年度(2020)	令和3年度(2021)	令和4年度(2022)	コメント・課題等	委員意見・コメント等
<b>(2)安全で快適な生活環境をつくりましょう</b>										
	障がい者住宅リフォーム助成	重度の身体障がい者が自宅で安心して生活できるように、浴室やトイレ、階段などを改造する場合、費用の一部を助成する。	健康福祉課	件数	継続	4件	6件	8件		
	高齢者住宅リフォーム助成	身体機能の低下した65歳以上のお年寄りが自宅で安心して生活できるように、浴室やトイレ、階段などを改造する場合、費用の一部を助成する。	健康福祉課	件数	継続	32件	34件	41件	R1：27件であったことから年々件数が増加している。	
	ごみのない美しい東区まちづくり事業	まちの美化と環境保全意識の一層の向上を図り、毎月最終日曜日をごみゼロの日として、身近なところを清掃するとともに、コミュニティ協議会単位で区内一斉清掃を実施する。	区民生活課	参加人数(実施か所)	継続	5,228人(97か所)	5,347人(106か所)	4,901人(104か所)	東区内12コミュニティ協議会のうち、11団体が清掃実施。天候不順(大雨による)及び新型コロナウイルスの流行を考慮し、1団体が清掃を中止した。	
	地域活動補助金【環境美化】	地域コミュニティ協議会、自治会・町内会、NPOが行う地域課題の解決を図る活動などに対して補助金を交付する。	地域課	件数	継続	3件	2件	3件	継続的に環境美化活動が行われている。	
	校区交通安全推進協議会育成補助金	校区交通安全推進協議会が行う交通安全意識の高揚及び交通事故防止活動に係る事業費の一部を補助する。	総務課	件数	継続	12件	12件	12件		
	高齢者や障がいのある人などの外出、移動のためのサービスの検討	高齢者や障がいのある方の外出を支援するため、車いすの貸し出しを行う。	区社協	延べ貸出件数	継続	56回	50回	86回		
	障がいを理解するための取り組み	障がい者の社会参加、活躍の場づくりを支援し、障がい者への理解を図る。	区社協	件数	継続	・アートキャンプへの協力 ・障がい者のアート展示協力「ほうこくの壁」 ・福祉教育「総合学習」における体験学習 16回	・アートキャンプへの協力 ・障がい者のアート展示協力「ほうこくの壁」 ・福祉教育「総合学習」における体験学習 26回	・障がい者アート展示協力「ほうこくの壁」 ・福祉教育「総合学習」における体験学習 29回 ・特別支援学校生徒の体験学習受け入れ 1回		

## 基本目標3 安心・安全に暮らせるまちづくり

◎地域全体で見守りの輪を広げ、災害、犯罪、虐待などの緊急時に助けあえるまちづくりを進めます。

活動目標	具体的な取り組み・事業	概要	担当	評価指標	目指す方向	令和2年度(2020)	令和3年度(2021)	令和4年度(2022)	コメント・課題等	委員意見・コメント等
<b>(1) 地域で見守りの輪を広げましょう</b>										
	見守り訪問による高齢者の実態把握<再掲>	第三者の目が届いていないと思われる高齢者を対象に、見守り訪問を実施して生活の様子を確認するとともに、状況に応じてふさわしいサービスへの誘導を図る。	健康福祉課	訪問件数	継続	7,309件	6,100件	7,507件	対象者の抽出方法変更により、訪問件数が増加した。	
	認知症サポーター養成事業	認知症について正しく理解し、認知症の人や家族を温かく見守り、支援する認知症サポーターを養成する。	健康福祉課	受講者数(累計)	継続	64人	230人	221人		
	民生委員・児童委員の確保	民生委員・児童委員は、社会奉仕の精神をもって、社会福祉の増進に努める民間の奉仕者で、厚生労働大臣の委嘱を受けて各地域に配置されている。	福祉総務課 健康福祉課	配置率(欠員数)	100%(0人)	95.9%(欠員9名)	96.8%(欠員7名)	95.9%(欠員9名)	令和4年12月に3年に一度の一斉改選が行われ、全体の約25%が新任者となった。	
	友愛訪問事業(見守り活動)	見守りが必要な一人暮らし高齢者(原則満75歳以上)等が住みなれた地域で安心して暮せるよう、地域ボランティアが訪問し、安否確認と孤独解消を図る。	区社協	訪問世帯数・訪問員数	継続	1,369世帯 284人	1,303世帯 280人	1,258世帯 281人	区内12地区で地区民生委員児童委員協議会および支会の協力により実施。	
	おせち料理配食事業の実施	友愛訪問事業対象者にあたたかい気持ちで新年を迎えてもらうため、地域ボランティアがおせち料理を配食し、声かけを行う。	区社協	配食数	継続	1,459食	1,382食	1,311食	区内12地区で地区民生委員児童委員協議会および支会の協力により実施。	
	地区民生委員児童委員協議会との連携	毎月各地区の定例会に出席し、情報交換を密にし、連携した個別支援、地域支援を進める。	区社協	各地区定例会への参加率	継続	95%	95%	95%		
<b>(2) 避難行動要支援者への支援体制を確立しましょう</b>										
	避難行動要支援者名簿登録制度	高齢者、障がい者、要介護者など災害時に自力で避難できない人などを対象に名簿を作成し、地域の自主防災組織などに配付し、災害時に地域で支援する体制を確立する。	健康福祉課 総務課	登録者数	継続	4,822人	4,374人	4,492人		
	自主防災組織	地域の住民の、「自分たちのまちは自分たちの手で守る」という共助の精神に基づき、地域の防災活動の拠点として結成される。	総務課	組織数・組織率	継続	124団体 97.3%	124団体 97.3%	124団体 94.7%	R4年度より自主防災組織率算定方法を見直し、自主防災組織の結成済自治会数(248自治会)÷東区自治会数(262自治会)×100	
	「きらりん救急情報キット」配付による緊急時・災害時の支援	高齢者や健康上不安を抱える方の安心・安全を守るため、かかりつけ医や緊急連絡先等の情報を保管するキットを配付し、緊急時・災害時に備える取り組みを進める。	区社協	登録者世帯・利用者数	継続	7,113人	7,218人	7,482人		

活動目標	具体的な取り組み・事業	概要	担当	評価指標	目指す方向	令和2年度(2020)	令和3年度(2021)	令和4年度(2022)	コメント・課題等	委員意見・コメント等
<b>(3) 地域で防災・防犯・交通安全対策を進めましょう</b>										
	自主防災組織結成・育成の支援（自主防災組織結成助成）	自主防災組織が結成され、結成の届出後1年以内に自主的な防災訓練を実施した場合に助成を行う。	総務課	件数	継続	0件	0件	0件	令和4年度は自主防災組織の新規立ち上げがなかったため。	
	防災訓練の実施	自主防災組織が自主的に実施する防災訓練	総務課	件数	継続	24件	39件	56件	令和3年度に引き続きコロナ禍の緩和により増加傾向にある。	
	防災訓練への支援（自主防災組織活動助成金）	自主防災組織が実施する防災訓練に必要な防災資機材の購入等経費の一部を助成する。	総務課	件数	継続	20件	32件	51件	令和3年度に引き続きコロナ禍の緩和により増加傾向にある。	
	防災講座の開催	避難場所や避難のしかた、地形などの特性、日ごろからの備えなどについて、市の職員が講師となり講座を行う。	総務課	開催回数	継続	18件	26件	22件		
	避難所運営体制検討会の開催	平常時から、避難所ごとに『避難所運営マニュアル』の作成や運営方法などについて、あらかじめ共通認識を持つとともに、顔の見える協力体制づくりを行う。	総務課	開催回数	継続	1回	1回	1回		
	防犯ボランティアネットワーク事業	各地域において防犯パトロールなどの防犯活動に取り組んでいるボランティア団体等のネットワーク形成、地域同士の情報共有・連携、活動支援を図る。	総務課	登録団体数	継続	45団体	46団体	48団体		
	地域安全マップの作成	犯罪が起こりやすい危険な場所を地図にまとめ、子ども自身の危険予測や危険回避能力を高めるとともに、作製に関わる大人と地域の防犯力を高める。	総務課	実施団体数	継続	1団体	1団体	2団体3チーム		
	交通安全教室の実施	幼稚園・保育園の児童や小学生、高齢者等を対象に交通安全教室を実施し、安全な交通ルールの啓発を行うことで、事故のない安心安全な暮らしを目指す。	総務課	実施回数・参加人数	継続	実施回数 163回 参加人数 8,381人	実施回数 92回 参加人数 4,374人	実施回数 115回 参加人数 4,829人		
	防犯灯設置補助金	自治会・町内会などが自主的に設置管理する防犯灯を対象に設置費及び電気料の一部を補助する。	地域課	件数	継続	92件	83件	81件	令和4年度末時点で防犯灯全体の98.6%がLED化されている。	
	地域活動補助金【防災・防犯】	地域コミュニティ協議会、自治会・町内会、NPOが行う地域課題の解決を図る活動などに対して補助金を交付する。	地域課	件数	継続	7件	9件	10件	コロナ禍により中止していた防災研修等の事業が再開され、件数が増加した。	
	災害ボランティア講座	東区で災害が発生した際に、区社協が中心となり様々な団体と連携して災害ボランティアセンターを運営するため、関係機関と災害ボランティア講座を開催する。	区社協	開催回数・参加者数	継続	災害ボランティアセンター研修（支会役員向け） 参加者 44人	開催なし	災害ボランティアセンター研修（中央区社協共催） 1回 136名	令和4年8月豪雨の実践から災害ボランティアセンターへの理解を深める研修を開催。	



## 基本目標4 だれもが集まれる機会・場づくり

◎誰もがいつでも気軽に立ち寄れる交流の場をつくり、地域で楽しく交流できる場の確保と活動参加の促進に努めます。

活動目標	具体的な取り組み・事業	概要	担当	評価指標	目指す方向	令和2年度(2020)	令和3年度(2021)	令和4年度(2022)	コメント・課題等	委員意見・コメント等
<b>(1) 気軽に立ち寄り、交流できる「場」をつくりましょう</b>										
	学校開放事業	生涯スポーツ・生涯学習の振興を図るため、学校教育に支障がない範囲で市立学校の施設を開放する。	地域課	実施校数・利用者数	継続	21校 4,210人	21校 4,384人	21校 4,406人	市民の体育活動や地域活動の普及・推進、子どもの健全育成を図ることができた。	
	コミュニティ活動設備整備補助金	地域活動に必要な高額設備（備品）の整備について費用の一部を補助する。	地域課	件数	継続	12件	14件	13件	これまで同様多くの団体から申請を受けている。	
	「地域の茶の間」の立ち上げ・運営支援<再掲>	地域に住む子どもから大人まで誰もが気軽に集まって過ごすことができる居場所「地域の茶の間」の普及を図るため助成を行う。	区社協	助成件数	継続	月1タイプ：55か所(件) 月2タイプ：9か所(件) 社協助成のみ：3か所(件)	月1タイプ：48か所(件) 月2タイプ：10か所(件) 社協助成のみ：6か所(件)	月1タイプ：53件 月2タイプ：8件 社協助成のみ：13件		
		地域に住む子どもから大人まで誰もが気軽に集まって過ごすことができる居場所「地域の茶の間」の普及を図るため助成を行う。	健康福祉課	助成件数	継続	週1タイプ：11件	週1タイプ：13件	週1タイプ：14件	コロナ禍でも休止する団体はなく、立ち上げ数も増加している。	
		「地域の茶の間」の立ち上げ、運営を支援するため、情報提供や交流会、研修会等を行う。	区社協	参加者数	継続	地域の茶の間担当者交流会 1回 74名	開催なし	地域の居場所勉強会 3回 117人	地域の茶の間・子ども食堂・子育てサロンの運営者を対象とした勉強会を開催	
<b>(2) 地域でふれあい、交流できる機会を増やしましょう</b>										
	老人憩の家及び老人憩のフロア	高齢者に対し教養の向上やレクリエーション等のための場を提供し、高齢者の心身の健康の増進を図る。	健康福祉課	利用者数	継続	46,589人	49,834人	59,016人		
	地域活動補助金【イベント等】	地域コミュニティ協議会、自治会・町内会、NPOが行う地域課題の解決を図る活動などに対して補助金を交付する。	地域課	件数	継続	5件	3件	13件	コロナ禍により中止していた事業が再開されたとともに、交流イベント等の新規事業の件数が増加した。	
	地域ふれあい事業への支援	地域住民による助けあい、支えあう地域づくりを推進するため、住民同士の交流を目的に行われる活動に対して助成を行う。	区社協	助成件数	継続	【地域ふれあい事業】 10件 【福祉施設地域ふれあい事業】 4件	【地域ふれあい事業】 17件 【福祉施設地域ふれあい事業】 6件	・地域ふれあい事業 29件 ・福祉施設地域ふれあい事業 9件		
	歳末たすけあい事業への支援	歳末時期に、地域住民や福祉関係者が協働で行う交流会事業に助成を行う。	区社協	助成件数	継続	【地域歳末たすけあい事業】 15件 【福祉施設歳末たすけあい事業】 0件	【地域歳末たすけあい事業】 26件 【福祉施設歳末たすけあい事業】 2件	・地域歳末たすけあい事業 35件 ・福祉施設歳末たすけあい事業 4件		
	敬老祝会助成事業	9月～10月に実施する、高齢者（75歳以上）の長寿をお祝いし、地域交流を目的とした敬老祝会に対し一部助成を行う。	健康福祉課	助成件数	継続	12件	0件	16件		

活動目標	具体的な取り組み・事業	概要	担当	評価指標	目指す方向	令和2年度(2020)	令和3年度(2021)	令和4年度(2022)	コメント・課題等	委員意見・コメント等
<b>(3)地域の学校や、いろいろな施設・団体と交流しましょう</b>										
	「ぶちショップ東区」の実施	障がい者施設の自主製品の販売を通じた交流	健康福祉課	参加団体数	継続	11団体	11団体	11団体		
	思春期健康教育	思春期の子どもを対象に、「思春期の心と身体の変化」、「性」、「生命」、「性感染症予防」などをテーマに健康教育を実施する。	健康福祉課	実施校数・参加者数	継続	小学校：1校 25人 中学校：2校 292人	小学校：1校 31人 中学校：6校 788人	小学校：1校 31人 中学校：8校 1,178人		
	地域活動補助金【教育】	地域コミュニティ協議会、自治会・町内会、NPOが行う地域課題の解決を図る活動などに対して補助金を交付する。	地域課	件数	継続	1件	0件	1件	コロナ禍により中止していた事業が徐々に再開されている。	
	福祉教育・体験学習への協力	区内の小中学校等の総合学習の支援を通し、障がい者、高齢者など地域に暮らすさまざまな状況にある人たちへの理解を深める活動を行う。	区社協	実施校数・参加者数	継続	8校（16回）1,711人 ・総合的な学習に関わる方との情報交換会開催なし	12校（26回）2,189人 ・総合的な学習に関わる方との情報交換会開催なし	11校（29回）2,567人 ・総合的な学習に関わる方との情報交換会開催なし		
	ボランティア（個人・グループ）の交流事業の開催	ボランティア活動者、受入れ団体と情報交換し、ボランティア活動のさらなる推進を図る。	区社協	実施回数・参加者数	継続	開催なし	開催なし	ボランティア、元気カアップ・サポーター、受け入れ施設交流会 1回 68名		
	元気カアップサポーター受入施設への働きかけ	元気カアップサポーター受入施設の拡充と受入れ施設の情報交換会などを開催し、受入れ施設の支援を行う。	区社協	参加者数	継続	開催なし	開催なし	同上		

## 基本目標5 情報の提供と相談支援体制の充実

◎必要な人に必要な情報をわかりやすく提供するとともに、誰もが安心して相談や支援を受けることができる体制づくりに取り組みます。

活動目標	具体的な取り組み・事業	概要	担当	評価指標	目指す方向	令和2年度(2020)	令和3年度(2021)	令和4年度(2022)	コメント・課題等	委員意見・コメント等
<b>(1) 必要な人に必要な情報が伝わる仕組みをつくりましょう</b>										
	区だより「わいわい東区」、ホームページによる情報提供	市民生活に役立つお知らせや地域の話など身近な情報を東区だよりや区のホームページ、スペシャルサイトなどで発信する。	地域課	発行回数 ホームページアクセス数	継続	年24回 46,000部 344,306回	年24回 46,000部 460,980回	年24回 40,000部 386,836回	東区に関する様々な情報や魅力を適切な手段、方法で届けることができた。	
	区だよりなどの点字版・音声版での提供	目の不自由な人で希望者を対象に、市報にいがた・東区だよりの点字版または記事を録音した音声版を郵送する。	地域課	発行回数	継続	年24回(月2回)	年24回(月2回)	年24回(月2回)	東区に関する様々な情報や魅力を適切な手段、方法で届けることができた。	
	子育てガイドブック「ままっぶ」の発行	東区の子育て中の保護者を編集委員とし、子育てに関する情報冊子を発行する。	健康福祉課	発行部数	継続	6,000部	6,000部	6,000部	手に取ってすぐ見れる紙ベース冊子は子育て世代に好評である。	
	依頼健康教育<再掲>	健康づくりや生活習慣病の予防、また歯の健康を守るための日常生活上の心得や食生活のあり方等について、保健師、栄養士などによる講習会を開催する。	健康福祉課	回数・延人数	継続	20回 196人	29回 401人	35回 479人		
	防災講座の開催<再掲>	避難場所や避難のしかた、地形などの特性、日ごろからの備えなどについて、市の職員が講師となり講座を行う。	総務課	開催回数	継続	18件	26件	22件		
	地域活動補助金【広報紙発行】	地域コミュニティ協議会、自治会・町内会、NPOが行う地域課題の解決を図る活動などに対して補助金を交付する。	地域課	件数	継続	3件	3件	3件	コミ協広報紙を継続して発行することで、地域全体に対し活動の周知を行っている。	
	機関紙「東区社協だより」による情報発信	東区社会福祉協議会の事業内容やボランティア情報、地域活動の情報を広く周知する。	区社協	発行回数	継続	年2回	年2回	年2回		
	区社協パンフレットの配付	東区社会福祉協議会の認知度、事業への理解を高め、必要な方へ必要な支援が結びつくよう、広くパンフレットを配布する。	区社協	配布箇所	継続	窓口等で配布	自治会・町内会回覧、公共施設配架、窓口等で配布	窓口等で配布		
	ホームページによる情報提供	東区社会福祉協議会の事業内容やボランティア情報、地域活動の情報をホームページを活用し、タイムリーに発信する。	区社協	ホームページ配信アップ数	増	9件	30件	24件		

活動目標	具体的な取り組み・事業	概要	担当	評価指標	目指す方向	令和2年度(2020)	令和3年度(2021)	令和4年度(2022)	コメント・課題等	委員意見・コメント等
<b>(2) 身近な地域での相談支援体制をつくりましょう</b>										
	地域包括支援センターの運営・周知	高齢者がいつまでも住み慣れた地域で生活することができるよう、地域にある様々な資源（保健・医療・福祉）などを活用し、多面的な支援を行う。	健康福祉課	相談件数	継続	36,080件	31,665件	27,089件	新型コロナウイルス感染症の流行もあり、相談件数が減少している。	
	成年後見制度の周知・利用支援	認知症、知的障がい、精神障がいなどによって判断能力が十分ではない人を保護し支援する。成年後見制度を利用する場合に必要な費用負担が困難な人に費用の一部を助成する。	健康福祉課	利用者数	継続	障がい：市長申立11件 助成利用11件 高齢：市長申立19件 助成利用74件	障がい：市長申立0件 助成利用18件 高齢：市長申立19件 助成利用101件	障がい：市長申立2件 助成利用25件 高齢：市長申立26件 助成利用124件	高齢：成年後見制度の利用者が毎年増加しており、制度の利用が進んでいる。	
	東区地域自立支援協議会の開催	東区における障がい福祉に係る地域課題等を協議する。	健康福祉課	開催回数	継続	4回	4回	4回		
	生活保護受給者の自立に向けた就労支援プログラム	ワークポート新潟と連携し、経済的援助を必要とする人の自立支援に向けた就労を支援する。	保護課	参加率(H27～)	30%以上(R3～)	21.6%	33.8%	30.8%	ワークポートが隣接されていることで、就労支援の連携が円滑に行われたことにより、目標の参加率を上回ることができた。	
	学習習慣支援プログラム（子どもの学習・生活支援事業）	社会福祉協議会と連携し、低所得世帯の中学生の学力向上を支援する。	保護課	参加者数	継続(R3から)	40人	27人	12人	積極的な働きかけを行いましたが高齢参加者数は減少となりました。次年度は面談の機会を増やすことなどで、子どもたちの参加につながるよう取り組みます。	
	日常生活自立支援事業の実施	認知症高齢者や知的障がい、精神障がいのある方の福祉サービス利用手続き、金銭管理、書類の預かり支援を通して、地域生活を継続できるようサポートする。	区社協	利用者数・延べ支援回数	継続	認知症高齢者 37人 知的障がい者 21人 精神障がい者 36人 総支援回数1,423回	認知症高齢者 人 知的障がい者 人 精神障がい者 人 総支援回数1,303回	認知症高齢者、知的障がい者、精神障がい者計80名 総支援回数1,264回		
	生活福祉資金の相談・貸付	低所得世帯、障がい者世帯、高齢者世帯などで金融機関や他制度からの借入れが困難な世帯に貸付相談を行う。	区社協	新規貸付・相談件数	継続	相談 1,794件 貸付 681件	相談 2,831件 申請 877件	相談 1,345件 申請 249件	令和4年9月末でコロナ特例貸付の受付終了。	
	関係機関・福祉専門職とのネットワークづくり	多問題世帯への支援など専門職が連携してよりよい支援ができるようネットワークづくりを進める。	区社協	実施内容	継続	開催なし	開催なし	ネットワーク会議開催1回	テーマ：福祉現場における「外国にルーツを持つ方」への支援について	
	CSWによる情報の提供と相談支援	地域住民や専門職との連携をすすめ、個別課題、地域課題の解決に向けた取り組みを進める。	区社協	相談件数	継続	1,140件	1,042件	728件	コロナ特例貸付の受付終了を受け相談件数が減少した。	
	歳末たすけあいフードボックス事業	生活困窮世帯やひとり親世帯等を対象に、支援の途切れがちな年末年始向けの食糧支援を実施する。	区社協	配布世帯数	継続	-	800世帯	568世帯	フードパントリー（寄付物品譲渡会）およびフードボックス（宅配による食糧支援）を実施。	